2026.10.16

・・最終受益者は子どもたち・・

はっぴー弘済会 ISHIKAWA

10月号
2026（R8）
October
No.6

公益財団法人
日本教育公務員弘済会石川支部
株式会社石川教弘
〒920-0901
金沢市彦三町2丁目1番45号むさしビル6F
ホームページ
https://www.nikkyoko.or.jp/company/ishikawa/index.html

震災対策支援事業 Not forget NOTO！

義援金の手交

一昨年、昨年に引き続き、奥能登4市町立の小学校15校、義務教育学校4校、中学校7校、県立高校5校、特別支援学校2分校の校長先生方へ、日本教育公務員弘済会本部・石川支部から総額200万円の義援金を手交いたしました。どの学校も、校舎や敷地の完全復旧には道半ばではありましたが、子どもたちや先生方の目は明日に向かって輝いて見えました。弘済会石川支部は、小さくとも、長く、永く、能登支援事業を継続していきます。


輪島小
冨水校長


東陽小中
宮本校長


門前学園
小川校長


橋本専任幹事


輪島中
福光校長


柳田小
坂口校長


宇出津小
六田校長


鵜川小
冨水校長


小木小
田中校長


松波小
宮本校長


柳田中
沖泙校長


能都中
小原校長


松波中
岡本校長


穴水小
表谷校長


向洋小
角間校長


滝井参事
穴水中
柿本校長


上戸小
寺井校長


飯田小
河元校長


直小
表谷校長


若山小
室石校長


正院小
山野校長


蛸島小
仲谷校長


みさき小
角校長


宝立小中
古道校長


大谷小中
鎌田校長


緑丘中
坂東校長


三崎中
三盃校長


穴水高
島崎校長


門前高
畠校長


輪島高
大坪校長


能登高
屋敷校長


飯田高
嶽校長


七尾特支輪島分校・珠洲分校
土佐校長



リブート（再始動）「石川県立能登少年自然の家」



『青い海・緑の大地・はずむ声…　自然は最高の先生だ』を合言葉に、子どもたちが自然の魅力に触れ、忘れられない思い出を紡いできた能登少年自然の家－。

・仲間と声を合わせて漕ぐ大型カヌーでの『海洋活動』
・ぴょんぴょん岩やキリコ橋を巡る『追跡ハイク』
・夜空を焦がす火文字に感動する『キャンプファイヤー』
・提灯一つを頼りに進む『きもだめし』
・わくわくしながら竿を握る『魚つり』
・火おこしから火加減まで工夫を重ねる『野外炊飯』等々

しかし、2024年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」により施設は大きな被害を受け、約2年半にわたる休館を余儀なくされました。被災直後は、電気や水道等のライフラインが途絶え、先の見えない状況が続きました。それでも復旧への歩みは少しずつ進み、施設は能登高校の生徒や被災地支援団体等の生活の場として活用されながら再開の日を待ち続けてきました。



そして、今年6月下旬。能登少年自然の家は、新たなスタートを切りました。活動内容には一部制限や変更もありますが、その一方で新たな魅力も加わっています。特におすすめは、息を合わせて水面を進む『小型カヌー』と震災を経験した語り部による講話や震災遺構の見学などを通して防災や命の大切さについて学ぶ『震災学習体験活動』です。子どもたちだけでなく、先生方にとっても心に残るものとなるでしょう。





さあ、大興奮と感動が皆さんを待っています。詳しくは、能登少年自然の家までお問い合わせください。
（石川県立能登少年自然の家 TEL0768-72-2200）

「LCのイチ推し」Vol.4

子どもたちの笑顔が大好き

今回ご紹介するステキな先生は、県立いしかわ特別支援学校に勤務する永田美帆先生です!!

金沢市出身で、今年が初任のピッカピカの教師1年目の先生です。金沢第三営業所の相村LC・森LCのイチ推しであり、弘済会の橋本専任幹事のイチ推しでもあります。その推しポイントは何といっても「前向きなエネルギー全開の明るさ」です。そんな永田先生にいろいろ聞いてきました。


▲永田美帆センセ

Q1:担当は？

A:　知的障害・中学部で体育の授業をもっています。どの子にも運動する楽しさを味わってもらえるように教材教具・ルールなどの工夫をしています。

Q2:「センセ」になるきっかけは？

A:高校時代に出会った先生がとても生徒想いで、どんな話でも聞いてくれる先生でした。そんな先生になりたい！と思ったのがスタートでした。

Q3:今、仕事でやりがいに感じていることは？

A:子どもたちが何かできた時にみせてくれる喜ぶ姿や笑顔を見るととっても嬉しくなります。その笑顔が私の毎日のエネルギーにもなっています。

Q4:今後の目標は？

A:教職に就いてから新たに2名の目標とする先生に出会いました。その先生方のように、子どもたちの笑顔、楽しそうな姿を引き出せるようにがんばりたいです！


◀中川俊美校長先生と永田美帆先生

お忙しい中、中川俊美校長先生にも永田先生のことをお聞きしました。

「セールスポイントは笑顔。とにかく明るい！はきはきとしている！そして何よりも子どもたちへの愛情がたっぷり！！　何ごとにも一生懸命でいつもプラスのオーラが出ています。」と大絶賛でした。

これからも一人一人に寄り添い、子どもたちが喜ぶ姿を求めて、楽しい授業づくりに取り組んでください。

教育研究助成事業
学校教育活動助成

小学校、中学校、高等学校、特別支援学校が行う学校教育活動に対して助成し、学校教育の向上に寄与しています。令和8年度は、申請のあった下記の23校に計約156万円を助成し、それぞれの学校で贈呈式を行わせていただきました。















































No.	助成校	活動名	品目 (補)は総額の補助とする
1	加賀市立錦城東小学校	主体的に学び続ける国語科の授業づくり	研修会参加費・講師謝礼
2	加賀市立金明小学校	算数科の授業における環境設定の充実	指導者用デジタル教科書
3	加賀市立動橋小学校	「学校を自分たちの手でもっと楽しくするプロジェクト」 －子ども・教職員・デザイナーによる学校空間共創プロジェクト－	水性ペンキ 等
4	小松市立荒屋小学校	仲間と共によりよい社会を切り拓く資質・能力を育てるための児童会活動・委員会活動・特別活動の推進	プロジェクター(補)
5	小松市立松東みどり学園	松東だからこそ 未来をサキドリ みどりの教育	講師謝礼・ICT機器 等
6	川北町立川北小学校	地域人材を活用したクラブ活動	ティーボールスタンド 等
7	野々市市立野々市小学校	みんなが学びの主役 －仲間とかかわりながら”自ら力”アップ－	セクションボード 等
8	金沢市立森山町小学校	加賀友禅卒業証書台紙作り	講師謝礼 等
9	内灘町立向粟崎小学校	多様な学びを支える環境整備と個別最適化学習の推進事業	パーテーション 等
10	内灘町立清湖小学校	みんなで楽しむボール運動プロジェクト	ソフトフォームボール 等
11	津幡町立津幡小学校	なかよしタイム～異学年交流活動による、つながり合い～	プールサイド滑り止め 等
12	かほく市立外日角小学校	三色異学年交流活動(体育・縦割り・遠足等)	青帽子(補)
13	かほく市立高松小学校	えがおいっぱいプロジェクト	折りたたみテーブル3台
14	かほく市立大海小学校	音楽科の授業におけるデジタル教科書の有効活用	音楽デジタル教科書(補)
15	珠洲市立上戸小学校	笑顔と絆を拡げる地域交流活動	消耗費・活動費
16	珠洲市立正院小学校	地震にも大雨にも負けない 正院小学校～地域学習の充実に向けて～	学習活動費・講師謝礼 等
17	県立大聖寺実業高等学校	学校設定科目「ふるさと学」を中心とする地域課題解決に向けた学習	バス借り上げ代(補)
18	県立大聖寺高等学校	探究活動を中心に据えたSTEAM教育を推進するための地域人材活用や外部専門機関との連携、研修などの実施	研修会参加費 コンサルティング費(補)
19	県立松任高等学校	トイドローンを活用した新たな学びと地域振興 ～コミュニティスクールモデル校としてのチャレンジ～	コーディングドローン(補)
20	県立金沢商業高等学校	総合的な探求の学習における地域課題解決のための講演会	講師謝金・宿泊費・交通費
21	県立七尾城北高等学校	地域に求められる定時制高校、人材育成を目指して ～美化活動、花壇、農園の取り組みを通して～	ガーデニング用品 等
22	県立盲学校	白杖歩行で、街に出よう！ 白杖歩行練習スペース設置作業及び白杖歩行基礎練習	地先ブロック
23	金沢大学附属特別支援学校	地域と連携して子どもの主体性を育てる協働学習～避難所生活を想定した実践的防災学習を通して～	防災グッズ

2027いしかわ総文

第2期生徒実行委員が仲間入り！

「2027いしかわ総文」生徒実行委員の第2期生30名が仲間入りしました。7月5日（日）に委嘱状交付式を開催し、県実行委員会会長の塩田教育長から一人ひとりに委嘱状が手渡しされました。第2期生の代表生徒からは「第1期生の思いを大切に、仲間と協力しながら最後まで全力を尽くす」と大会の成功に向けた力強い決意が表明されました。交付式の最後には、第1期生やつづみ丸と記念撮影を行い、みんなの笑顔に包まれた温かい雰囲気の中で、第2期生を迎えることができました。

委嘱状交付式に続き、生徒実行委員長をはじめとした執行部が総文の概要やこれまでの準備状況を説明した後、レクリエーション「つづみ丸が転んだ」を行い、第2期生もすっかり打ち解けているようでした。その後の業務別部会では、第2期生も各部会に分かれて、第1期生と一緒にそれぞれの活動に入っていきました。

第２期生の加入により、来年の本大会に向けた生徒実行委員会の体制が整いました。力を合わせて準備を進めていきます。



第2期生徒実行委員と一緒に記念撮影

公式ウェブサイト　Instagram　X(旧Twitter)

「あきた総文2026」に参加してきました！

7月26日（日）から8月1日（土）にかけて、「あきた総文2026」が開催されました。「2027いしかわ総文」の生徒実行委員30名も、7月26日（日）の総合開会式とパレードに参加してきました。

総合開会式では、秋田県と石川県が協力してステージを作り上げる「交歓会（二県交流）」に出演しました。秋田県の生徒実行委員と何度も準備や練習を重ねた成果が発揮され、本番では両県の紹介などを通して、会場の皆さんに楽しんでもらうことができました。

パレードでは、「2027いしかわ総文」のマスコットキャラクター「つづみ丸」と一緒に、秋田市中心部を練り歩きました。沿道からの温かい声援を受けながら、「2027いしかわ総文」をPRしてきました。

参加生徒は「あきた総文2026」を通じて、来年の本大会のイメージが深まったようです。この経験を生かして、石川らしい大会を目指して準備を進めていきます。



「あきた総文2026」パレードに参加





大会マスコットキャラクター
つづみ丸

福祉対象者のみなさんへ

＊福祉対象者とは、次の教弘保険（提携保険会社：ジブラルタ生命保険）にご加入いただいている方：「ユース教弘保険」「新教弘保険A型・B型」教弘保険S型・K型」「第1種～第4種教弘保険」

＊これら以外の保険は対象外

「インフルエンザ予防接種補助」事業

今年度の申請受付は11月2日スタートです！

当支部では福祉事業の一環として「インフルエンザ予防接種補助」を行っております。令和8年度（2026年度）の募集要項と申請書は、当支部のホームページに掲載してございます。必ず今年度の申請書をお使いください。申請書の受付開始は11月2日です。今しばらくお待ち下さい。

